

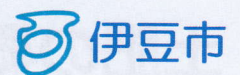
海と共に生きる 観光防災まちづくり

令和7年10月
伊豆市



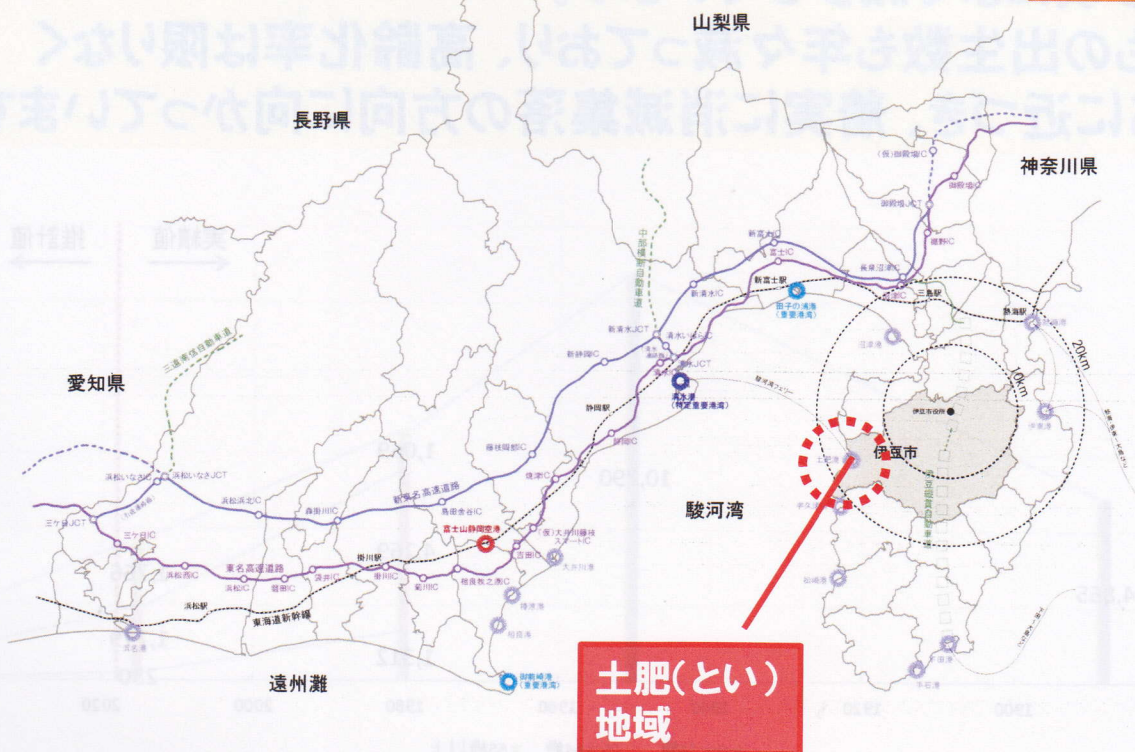
自然・歴史・文化が薫る 誇りと活力に満ちた「伊豆半島の新基軸(クロスロード)」・伊豆市

伊豆市の概況



伊豆市：平成16年4月
修善寺町，**土肥町（土肥温泉）**，天城湯ヶ島町，中伊豆町の4町合併

伊豆市の位置



まちづくり共働
のくさ末災胡光勝

1.土肥地域の概況

月01年7時令
市豆申



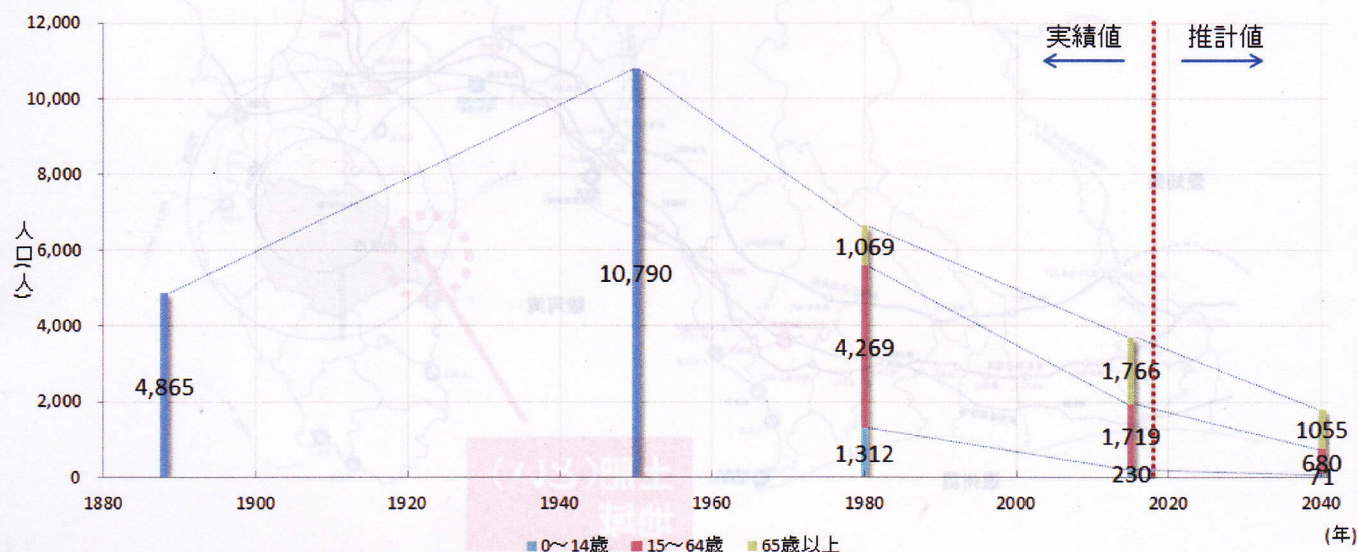
自然・歴史・文化が薫る 誇りと活力に満ちた「伊豆半島の新基軸(クロスロード)」・伊豆市

土肥の概況について（人口動態）



現在の人口は約3,000人(令和7年1月現在)。明治時代と同じ頃にまで減少しています。

こどもの出生数も年々減っており、高齢化率は限りなく50%に近づき、着実に消滅集落の方向に向かっています。



「南海トラフ巨大地震」が引き起こす津波

は、**高さが最大で10m**

地震発生から**6分後に土肥地域の
沿岸に到達**すると想定されています。

津波想定死者数は、**1,400人**

三島神社

妙蔵寺

波尻観音

2. 推進計画策定等に向けて

津波防災地域づくり推進協議会



会長 加藤孝明 教授
(東京大学生産技術研究所)



副会長 原田賢治 准教授
(静岡大学総合防災センター)

推進計画の策定

観光・環境・防災のバランスがとれたまちづくりに向けて
土肥地域一丸となって取り組みを推進

土肥温泉旅館協同組合
伊豆漁協土肥支所
伊豆市観光協会土肥支部
伊豆市商工会土肥支部

産業

伊豆市区長会
土肥地区区長
土肥地区区長
土肥・小土肥地域づくり協議会

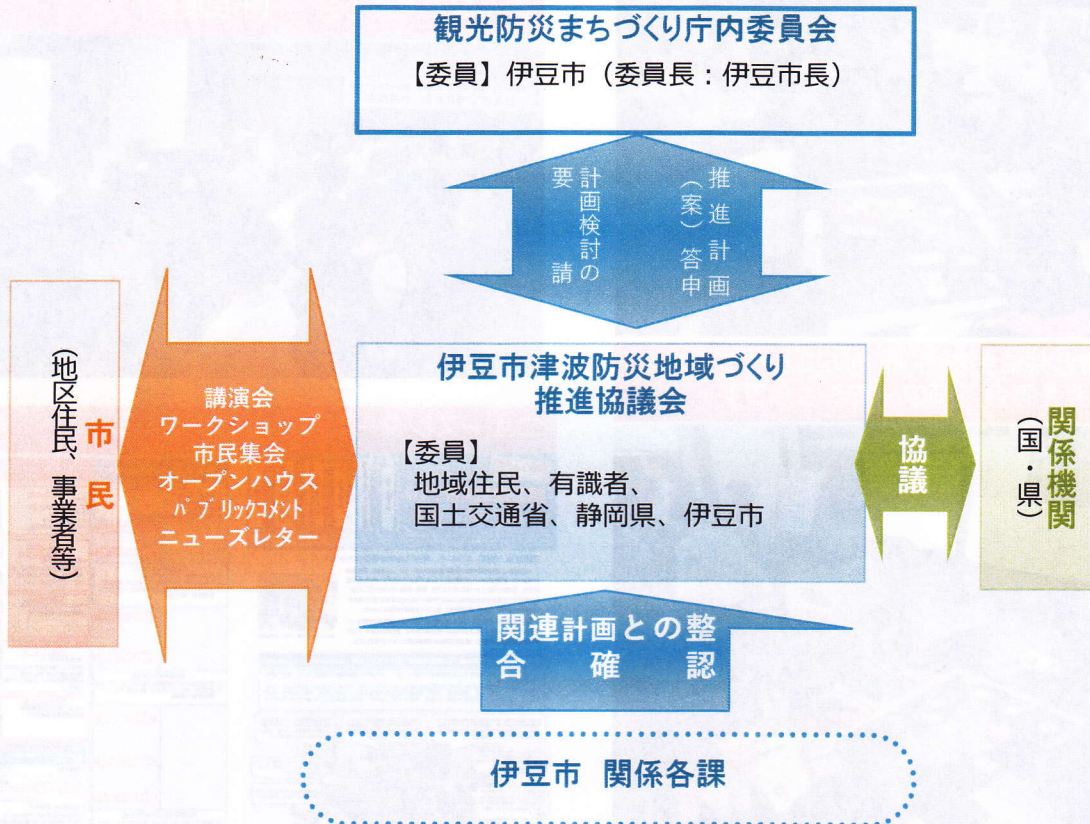
地域

東京大学生産技術研究所
教授 加藤孝明
静岡大学防災総合センター
准教授 原田賢治

大学

西豆地区地域づくり協議会
民生委員(土肥地区)
土肥中学校PTA会長

国土交通省
静岡県
伊豆市
行政



推進計画の策定

H28.2
検討開始

数多くの意見
交換会による
丁寧なリスク
コミュニケーション

H29.3
協議会答申





伊豆市“海と共に生きる”観光防災まちづくりをみんなで考える会 【ワークショップ】



伊豆市“海と共に生きる”観光防災まちづくりをみんなで考える会 【市民集会】



ニュースレター



10



『地震・津波による被害を減らしたい。』
『地域が衰退しないよう、生活や産業も大切にしたい。』
という思いを両立させるため、地域のあり方やみんなで協力して取り組むことを示した推進計画をつくりました。

環境

海と共に生きる
まちの将来像

観光

防災

11

■全体方針

観光、環境、防災のバランスがとれた海と共に生きるまちづくり

■取組方針

共生する	リスクを理解し、工夫を積み重ねて安全性を高めるエリアの形成
逃げる	住民、観光客、従業員などの安全を確保するための警戒避難体制の構築
生き延びる	地域が早期復旧するための支援機能の向上
守る・減らす	地震・津波・土砂災害による被害を少しでも減らすための防災・減災対策の推進

推進計画〈初版〉策定後の取組み

日付	地区	内容
5月8日	—	庁内会議（部長会）※推進計画（初版）策定
5月30日	土肥地区全域	地域選任委員説明会・みんなで考える会（市民集会）（46名）※ がんばる“地域宣言”の作成開始
6月4日	土肥地区全域	各区・土肥温泉旅館協同組合 情報伝達・確認訓練
6月29日	土肥地区全域	観光防災まちづくりニュースVol.3発行
7月上旬	—	“愛称”募集開始
7月13日	土肥地区全域	区長会（計画概要報告）
7月27日	土肥	中浜区説明会（16名）
8月上旬	土肥地区全域	観光防災まちづくりのぼり設置開始
8月9日	土肥	土肥こども園避難訓練（19名）
8月10日	土肥	ライフセーバー研修（32名）
7月20日	土肥	土肥小中学校連絡会（22名）
9月5-6日	土肥	土肥中生と考える会（59名）
9月3日	土肥地区全域	総合防災訓練
9月14日	小土肥	黒根区意見交換会（20名）
9月19日	小土肥	浜区説明会（7名）
10月10日	土肥	ケアマネージャー意見交換会（18名）
10月12日	土肥	大藪区意見交換会（13名）
10月16日	土肥	民生委員意見交換会（17名）
10月下旬	土肥地区全域	がんばる“地域宣言”作成終了（19件）
10月31日	—	“愛称”募集終了（141件）
11月2日	土肥地区全域	みんなで考える会（市民集会）（80名）
11月16日	—	都市計画全国大会先進事例発表
11月22日	—	第6回推進協議会開催
11月23日	—	推進協議会「推進計画（見直し案）」答申
12月12日	土肥	土肥金山連携訓練（70名）
12月19日	—	庁内会議（部長会）※推進計画（第2版）策定
12月中旬～1月上旬	—	愛称1次審査（作業部会）
12月27日	—	「災害に強いまちづくり」意見交換会事例発表（市長）
12月28日	—	ジャパン・レジリエンス・アワード応募（締切り）
1月16日	土肥	土肥中生と考える会
1月16日	土肥	みんなで考える会（大市民集会）
2月中旬～3月上旬	土肥地区全域	愛称投票
3月4日	土肥地区全域	津波避難訓練
3月15日	—	愛称最終審査（作業部会）
3月20日	—	ジャパン・レジリエンス・アワード グランプリ受賞
3月27日	土肥地区全域	津波災害（特別）警戒区域指定（静岡県）

H29.5
推進計画策定

がんばる地域
宣言作成開始

愛称公募開始

数多くの意見
交換会を実施

がんばる地域
宣言作成終了

H29.12
推進計画
（第2版）策定

愛称審査決定

H30.3全国初
海のまち安全創出
エリア指定

伊豆市“海と共に生きる”観光防災まちづくりを
土肥中生と考える会

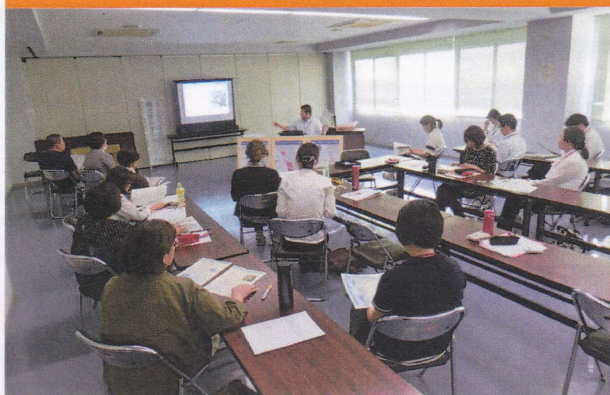


14

各地区意見交換会



ケアマネジャー意見交換会



ライフセーバー研修



15

Legend

- 避難経路 (Evacuation Route)
- 避難上目標地点 (Evacuation Target Point)
- L2による道路幅員70%以上 (Road width 70% or more based on L2)
- 最大洪水範囲 (Maximum Flood Range)

全床率 (東側ケース)

- N/A
- 0% - 20%
- 20% - 40%
- 40% - 60%
- 60% - 80%
- 80% - 100%
- NO DATA

地形

- 川、水 (River, Water)
- 道 (Road)

0 50 100 200 300 400 Meters



防災担当大臣と対談
(2018.10)

土肥地域の**先駆的な取り組み**が全国的に評価された

【区域指定決定】

- ・津波災害特別警戒区域 (愛称：海のまち「安全創出エリア」)
- ・津波災害警戒区域 (愛称：海のまち「安全避難エリア」)

※地域のイメージをプラスに転換するための愛称を設定



20

観光キャンペーン

愛称決定観光キャンペーン



区域指定・愛称決定の記念
イベントで連携して情報を発信！

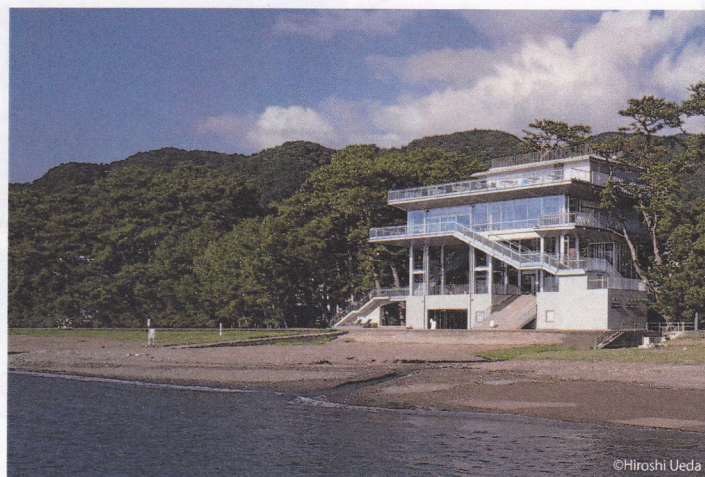
21



プレイベント津波避難訓練

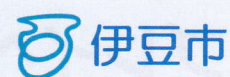


4. 松原公園津波避難複合施設の概要



自然・歴史・文化が薫る 誇りと活力に満ちた「伊豆半島の新基軸(クロスロード)」・伊豆市

施設の概要・機能等



RF (T.P.+21.8m)
4F (T.P.+18.0m)

避難スペース
/ 展望台

3F (T.P.+14.0m)

避難スペース
/ レストラン

想定津波高さ
(T.P.+10.0m)

2F
1F

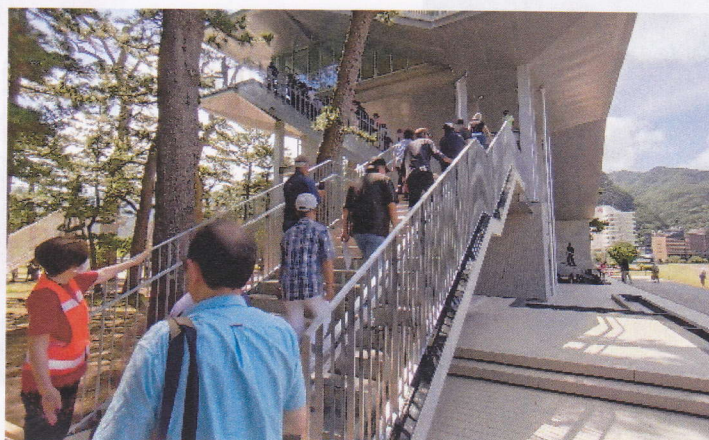
松原公園

中間避難
スペース

海水浴場



プレイベント津波避難訓練





備蓄計画（3階・4階へ備蓄）

備蓄品	数量	備考
非常食（パン）	1,296食	
保存水（500ml PET）	1,248本	
保存水（2ℓ PET）	2,460本	
女性用生理用品	460枚	
紙おむつ	1,010枚	
エマージェンシーブランケット	1,230枚	
避難用シューズ	250足	子ども用、大人用
簡易トイレ	8台	
簡易テント	5基	簡易トイレ用
救急セット	2セット	
その他	1式	ブルーシート、ロープ等

国土交通省都市局事業、国費2/3

県危機管理部事業1/12、 静岡県市町村振興協会1/12

県スポーツ・文化観光部事業、県費1/3(有償スペース)、

県費1/2(無償スペース)

総事業費	補助事業区分	国費	県費等	市費
12億700万5千円	防災機能	5億5,300万円	1億3,800万2千円	1億3,800万3千円
	観光機能、外構	-	5,700万5千円	3億2,000万5千円